

平成28年度
定時総会

決算・新役員を承認



公益社団法人
宮城県芸術協会
(郵便番号 980-0802)
仙台市青葉区二日町16-1
二日町東急ビル5-B
電話 (022) 261-7055
FAX (022) 214-5184
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
発行者 大場 尚文

「はなやま」の題号は、
芸協の創設が宮城県花山
村（現栗原市花山）湖畔
亭の会合で決まったこと
にちなんで付けられた。

平成28年度の当協会定時総会
は、6月4日午後2時10分から、
仙台市青葉区の仙台市福祉プラ
ザで開かれた。

「む」とあいさつ。議長に選出さ
れた絵画部の及川英之部長が、
大場理事長と雫石隆子執行理事
を議事録署名人に指名した。

開会に先立ち、司会の中塚仁
執行理事が、出席者と委任状で
総会成立の定足数を満たしてい
ることを確認。大場尚文理事長
が「芸術祭等にもみられる各分野
の独自性と多様性は芸術の大き
な資産。平成28年度は資産の更
なる蓄積を目指すとともに、引
き続き会員の拡大にも取り組

度事業計画及び収支予算につ
いて」が執行部から説明された。
議事は「平成27年度事業報告
及び収支決算の承認について」
と「役員を選任について」の2
件。執行部からの議案説明の後、
質疑と採決が行われ、いずれも
満場一致で可決された。

大場理事長を再選

新役員体制決まる

第2回
理事会

定時総会終了後に開かれた本

カッコ内は担当。

年度の第2回理事会では、理事

【理事長】大場尚文

長・執行理事選定規程にもとづ

【執行理事】雫石隆子（総括）、
池田徳雲・佐々木光一（財務）、
中塚仁・渡部勝彦（事業）

と5人の執行理事が再選され

【理事】岡崎宗豊、加藤伊佐雄、
亀井文行、後藤大峰、桜井忠彦、
佐藤皖山、佐藤淳一、清水道玄、

た。定時総会及び第2回理事会

で決定した新役員体制は次のと

おり（敬称略。太字は新役員。

菅原宗初、西村一紗、橋本昌彦、
坂内佳禰、吉田利弘

【監事】岡本勝、佐藤光郎

菅原宗初、西村一紗、橋本昌彦、
坂内佳禰、吉田利弘



芸術文化の力で 地域の活性化を

——賛助会員と共に——

理事長 大場 尚文

6月4日に開催された定時総
会・理事会で、再び理事長を仰
せつかりました。改めて身に余
る光栄と感謝し、ご期待に添え
るよう全力を尽して参りたいと
思っております。

と芸術文化振興への思いを共有
し、幅広く芸術活動を支援して
いただける仕組み作りが重要と
なります。

本協会は創立53年目を迎えま
したが、この歳月は「郷土の芸
術文化興隆の奉仕者になる」と
する創立以来の崇高な精神で、
会員が力を合わせて宮城県の芸
術文化振興を担ってきた歩みと
いえます。

度から賛助会員の拡大に重点的
に取り組んでおります。お陰様
で新年度に入って個人の方々や
県内で活動する多くの企業から
ご賛同をいただくことができ、
入会申し込みがすでに50件を超
しております。

近年、芸術文化に対する理
解が深まり、国の文化政策も、
2020年の東京オリンピック
に向けて芸術文化を起爆剤とす
る地方創生の実現を図る方針を
示しています。

私達のパートナーとなってい
ただいた賛助会員の皆様と手を
携えて、会員の皆様の芸術活動
を基盤とした地域の活性化に、
より一層貢献できるよう努めた
いと思っておりますので、引き
続きご支援とご協力をお願い致
します。

当協会としても、地域の方々

「震災と俳句」

定時総会記念講演



文芸部 (俳句) 高野ムツオ氏

〈はじめに〉

俳句の「俳」の字は、人間が二人背中を合わせておどけるといふ意味で、俳人とは滑稽を基礎に言葉(詩)を作る人です。

昭和21年、当時東北大学助教

授の桑原武夫は、短詩型である俳句の限界を指摘し、糾弾する

「第二芸術論」を発表しました。

これにより、俳人は俳句を見直すべききっかけを得ました。

〈鑑賞と作品紹介〉

子規を例にすると、句の表面の理解は容易ですが、背景を知る事で、さらに深みが増します。

潮騒や瓦礫の上の天の川

細田桂子

嬰の泣く声を力の三月来

石崎径子

町ひとつ津波に失せて白日傘

柏原眠雨

開くたび墓標が見える揚花火

土屋遊童

〈句集「わたしの一句」より〉

俳句は世界最小の定型詩ですが、その世界は無限です。俳句を通して更なる表現を続けたい

と、決意しております。

4氏が参事に就任

6月4日に開催された第2回

理事会で参事の推薦に関する議案を審議。法人運営規程にもと

づき、これまで役員として当協

会の運営に尽力された次の方々

が理事会から推薦を受けて参事

に就任した(敬称略)。

▽青山 焔 (文芸部)

▽大内 欽二 (絵画部)

▽牛島 富美二 (文芸部)

▽宮澤 寒山 (邦楽部)

◆新入会員

【彫刻部】▽八巻正弘 角田市

青森市で芸文協総会

平成28年度東北・北海道芸術文化団体協議会の総会が6月10日、青森市のホテル「ラ・プラス青い森」で開催され、当協会から大場尚文理事長と白鳥良一事務局長が出席した。

議事は「平成27年度事業報告並びに収支決算」と「平成28年度事業計画(案)及び収支予算(案)」。情報交換では「会員募集について」と「次世代育成の方策」について話し合われた。

総会に先立ち、交流事業として中村流松鶴会家元中村虎治氏による「日本舞踊との出会い」という文化講演会があった。

好天のもと杜の都大茶会



当協会と河北新報社が主催する、茶道部13流派による第20回杜の都大茶会は、5月28日と29日に仙台市青葉区の勾当台公園で開かれた。

今年20回目を記念し、各流派が来場者にお点前を指導する無料体験コーナーも特設された。

天候に恵まれ、来場者は新緑のもと、お目当ての茶席でお茶とお菓子を楽しんだ。両日の来場者は9070人に上った。



旧鉱山事務所などスケッチ

本年度の絵画部スケッチ研修会は、6月11、12日の1泊2日の日程で実施された。今回は1日目に秋田県の小坂町、2日目に青森県十和田市の奥入瀬渓流を訪れた。明治の鉱山地帯の繁栄を偲ばせる旧小坂鉱山事務所と康楽館に、豊かな樹木と千変万化の美しい奥入瀬渓流の景観。両日とも天候に恵まれ、思い思いにスケッチを堪能した。参加者は32人であった。

大邱国際交流展—絵画・写真—

7月22日～26日せんだいメデアテークで

当協会と韓国芸術文化団体総連合会大邱広域市連合会(以下、大邱芸総)との交流事業が「仙台・大邱国際芸術交流展—絵画・写真—」として、せんだいメデアテークを会場に7月22日から26日まで開催された。

交流展開催にあたり7月20日から23日の期間には、大邱芸総の柳肇佑会長はじめ16名の訪問団が来仙した。

交流展では当協会から99点(絵画64・写真35)、大邱芸総から50点の作品を展示。一般公



国際交流展の開場式

開に先立つ7月21日には大邱訪問団と多くの来賓、出品者の参加による開場式と、会場をアークホテル仙台青葉通りに移した大邱訪問団歓迎レセプション、出品者懇親会が開催された。

交流展への来場者は1,170人で、多くの来場者に恵まれた。また、7月21日に行われた交流協定の協議では、今後2年間の交流事業を「両国の伝統文化に関連する芸術分野」の交流として実施し、今回締結した平成29・30年度に係る協定をもって両団体の交流事業を終結とすることが合意された。

私たちは
芸術協会を応援します

新賛助会員(申し込み順)

(団体)

◆株式会社タカゾノ

◆仙台営業所長 遠藤広明 様

◆株式会社スズケン

北仙台支店長 小川雅之 様

◆ノアメディカルシステム株式会社

◆代表取締役 坂本省司 様

◆株式会社イヤサカ仙台支店

◆支店長 東野昭博 様

◆岩瀬薬品株式会社葛飾営業所

◆所長 菅澤和弘 様

◆ダンロップタイヤ東北株式会社

◆代表取締役 香川光宏 様

◆日立オートモティブシステムズ

◆メジャメント株式会社東北支店

◆支店長 三浦誠 様

◆株式会社バンサイ仙台支店

◆執行役員支店長 高木一人 様

◆損害保険ジャパン日本興亜株式会社仙台支店

◆支店長 中條太志 様

◆日新製鋼建材株式会社東北支店

◆支店長 大塚清隆 様

◆プリヂストーンタイヤジャパン株式会社宮城カンパニー

◆支店長 金森昭洋 様

◆リンナイ株式会社東北支店

◆支店長 富田真令 様

◆エムケー精工株式会社仙台支店

◆支店長 大藤保男 様

◆株式会社タツノ東北支店

◆支店長 柘田和彦 様

◆伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社東北支店

◆支店長 織田雅宏 様

◆JXエネルギー株式会社東北支店

◆支店長 平田慶介 様

◆コクヨ東北販売株式会社

◆代表取締役社長 岡竹博昭 様

◆株式会社ダイフクプラスモア

◆代表取締役 井狩彰 様

◆クリオン株式会社東北営業所

◆所長 正田昌毅 様

◆株式会社佐浦

◆代表取締役社長 佐浦弘一 様

◆キリンビールマーケティング

◆株式会社東北統括本部

◆本部長 伊藤博之 様

◆宝酒造株式会社東北支店

◆支店長 竹内正幸 様

◆アサヒビール株式会社仙台支店

◆支店長 垣内康志 様

◆株式会社仙台銀行

◆取締役頭取 鈴木隆 様

◆株式会社電通東日本仙台支店

◆支店長 石崎徳治 様

◆株式会社北日本銀行仙台支店

◆支店長 北田俊郎 様

◆S M B C 日興証券株式会社仙台支店

◆支店長 白石博巳 様

◆同和興業株式会社

◆代表取締役 佐々木茂 様

◆ハリウコムコミュニケーションズ株式会社

◆代表取締役 針生英一 様

◆三菱UFJ信託銀行株式会社仙台支店

◆支店長 坂山奇右 様

◆ビューティー株式会社仙台支店

◆支店長 若月信二 様

◆株式会社兼匠三全

◆代表取締役社長 田中裕人 様

◆株式会社富士通マーケティング

◆東北支店長 瀧本達也 様

◆富士ゼロックス宮城株式会社

◆営業統括部長 伊藤将行 様

◆株式会社ユヤマ

◆東京営業所長 黒田康隆 様

◆アストモスエネルギー株式会社東北支店

◆執行役員東北支店長 相馬直樹 様

◆あいおいニッセイ同和損害保険株式会社仙台支店

◆執行役員東北地域担当 高橋裕 様

◆株式会社ビィ・プロ

◆代表取締役 江馬文成 様

◆株式会社仙台89ERS

◆代表取締役 中村彰久 様

◆株式会社七十七銀行

◆取締役頭取 氏家照彦 様

◆未来テクノス株式会社

◆代表取締役 堀内周光 様

◆二階清太 様

(個人)

今年の課題は各部事業の点検

第1回部長会議で協議

当協会の平成28年度第1回部長会議が7月8日、協会会議室で開かれた。議題は①第53回宮城県芸術祭について②各部事業の点検について③その他の3点。

①に関しては、中塚仁執行理事が実行委員、事業計画、印刷物、部門ごとの授賞割り当てなどについて説明した。また、巡

回展の在り方については、今後企画・実施の主体となっている県教委との間で検討していくことになったとの報告があった。②については、事業担当の渡部勝彦執行理事が各部の過去10年間の各事業のデータを示して活動実績を報告。全体として、作品展や催事への来場者が伸び

悩みの傾向にあることなどを課題として指摘した。その後各部から事業の現状が報告された。8月上旬に持たれる各部長・副部長と執行理事との話し合いなどをもとに、今後各部で事業の点検を行い、12月2日の第2回部長会議で各部の考え方を報告し合うことになった。③では、韓国・大邱との交流事業を平成30年度限りで終了とする旨を大邱側へ申し入れることとした、との報告があった。

文学散歩参加者募集

群馬のうたびとたちと富岡製糸場

9月27日(火)・28日(水)

今年の文学散歩は「群馬のうたびとたちと富岡製糸場」をテーマに、9月27日(火)、28日(水)の両日、群馬県の前橋市、安中市、富岡市、高崎市を巡ることになった。

前橋市では、萩原朔太郎や、近代詩の詩人を紹介する前橋文学館を見学。安中市に移動し、新島襄旧宅を訪ね、舌切り雀の発祥の地磯部温泉「磯部ガーデン」に宿泊。

翌日は、世界遺産の富岡製糸場を見学後、村上鬼城菩提寺の句碑を見る。昼食は高崎市役所レストラン(21階)。ここから高崎市内が一望できる。昼食後、村上鬼城記念館、土屋文明記念文学館と二つの文学館を巡る。

今回も見学場所を厳選し、充実した内容の文学散歩なので、会員以外の参加も期待。

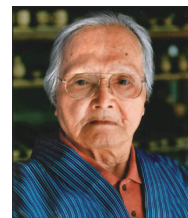
▽期日 9月27日・28日▽募集人員 40名▽参加費 2万9千5百円▽申込み 9月13日(火)までに、芸術協会事務局へ。



世界遺産富岡製糸場

針生乾馬名誉会員を悼む

名誉会員 高倉 健



針生乾馬さんと、宮城県からも出品者がほ(本名嘉)さんの工芸家を訪ねて出品をすすめて、5月7日、その努力も実って、地元入満88歳で永選者を含めた第1回展の開催と眠された。堤焼乾馬窯の四代目として活躍されてきた針生さん。ご子息の久馬さんからお知らせをいただいて、言葉を失った。針生さんは昭和44年、堤焼に陶芸教室「つつみ会」を開かれた。その時私も入会して、それ以降先生から、制作のこと、ろくろや展覧会、個展のことなど、多くのことを教えていただいた。

昭和45年5月、第10回伝統工芸新作展第1回仙台展が、三越仙台支店を会場に開催された。開催の経緯について先生に伺ったことがある。先生は開催できた要因を三つほどあげた後、その一つとして「同展開催の受け皿が、当時できていたことがあげられる」と言っておられた。先生は昭和38年頃から東京のデパートで個展を開催するなど、早くから中央に進出して活躍していた。同展の開催が決まご冥福をお祈り申し上げます。

研修旅行参加者募集

中国江南の旅～上海・烏鎮・紹興・杭州～

11月9日(水)～13日(日)

平成28年度の研修旅行は7年ぶりに中国を訪ねる「江南の旅～上海・烏鎮(ウーチン)・紹興・杭州～」となった。11月9日から13日まで、上海を皮切りに、烏鎮・紹興・杭州を巡る。烏鎮は、浙江省北部に位置し、水路を主な交通手段とする唐代からの生活風景を残す、静かな水郷村落である。紹興酒の産地で有名な紹興では、王羲之が曲水の宴を開き「蘭亭序」を草したとされる蘭亭、仙台とゆかりの深い魯迅の生家や記念館を訪ねる。また、杭州では中国随一の景勝地の西湖で絶世の美女西施にまつわる美しい風景を愛でる。

今回の研修旅行は、異国情緒豊かな水郷の風景、書家必見の蘭亭、魯迅の故居、世界遺産の西湖など、多彩で見所の多い旅となる。詳しい日程や旅行費用などは同封のパンフレットのとおりで、申し込みは10月14日(金)まで河北新報トラベルか芸協事務局へ。

まで河北新報トラベルか芸協事務局へ。

第53回芸術祭準備着々

展示部門の開幕は9月23日

第53回宮城県芸術祭は、新たに加わった9月17日(土)開催のピアニコンクールガラコンサート(日立システムズホール仙台)まで実施される。現在、準備が着々と進められ、おくり、なかでも文芸作品・絵画・彫刻・写真の各公募では、少しでも多くの応募があるよう、学校や関係機関などに募集要項を送るなどして周知に努めている。応募についての問い合わせは



情緒豊かな烏鎮の水郷風景

事務局まで。

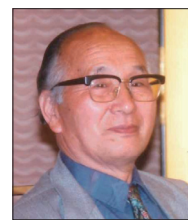
巡回展は富谷市で

第53回芸術祭の巡回展は、絵画・書道展が10月25日(火)から30日(日)まで、富谷市の成田公民館で開催される。

人口増加が著しい富谷町は、10月10日に市に移行することが決まっております。今回の巡回展は富谷市、同教育委員会と共催し、地元芸術協会も含めた市制移行記念行事として実施される。

新澤玉雄先生を偲んで

名誉会員 渡辺 雄彦



芸協の名「現会」を創設。高校の美術教育 誉会員で、にも力を入れて、美育研究会を 日洋会会員 立ち上げるなど、大きな功績を でもあった 残された。

生が5月に亡くなられた。大正 10年生まれ95歳。葬儀当日に 10年生まれ95歳。葬儀当日に 逝去を知り、あわてて友人の 育にも大きく貢献された。

飯淵健一君を誘って泉区の葬儀 会場に向かった。会場には、優 しく少し微笑んでいるような玉 雄先生の遺影が飾られていた。 葬儀は静かで清らかな空気の中 で営まれ、先生のお人柄が偲ば れるようなお別れであった。

新澤先生は古川町(現大崎市) に生まれ、旧制古川中学校から 東京美術学校(現東京芸大)に 進学。戦時中のことで、繰り上 げ卒業と同時に軍隊に召集さ れ、気象関係の仕事に従事した。 特攻隊出撃に適した天候かどう かを判断して、特攻隊を見送る 毎日だったそうである。飛行機 の整備にも携わっていた、と聞 いたこともある。 終戦後は、佐藤多都夫先生な どと共にいち早く美術団体「新

平成 27 年度 事業 報告

(1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

事業種別	事業名	期日	会場	入場者数	作品点数・出演者等
展示関係事業	書道展	9/25～9/30	せんだいメディアテーク5・6F	3,254名	289点
	工芸展	9/25～9/30	せんだいメディアテーク5F	1,681名	81点
	華道展	10/2～10/7	せんだいメディアテーク5F	3,372名	前期34点・後期34点
	写真展・写真公募展	10/2～10/7	せんだいメディアテーク5F	3,092名	会員展94点・公募展入選91点
	彫刻展・彫刻公募展	10/2～10/7	せんだいメディアテーク6F	3,268名	会員22点・招待1点・公募6点
	絵画展（公募の部）	10/2～10/7	せんだいメディアテーク6F	3,268名	137点
演奏関係事業	長唄演奏会	10/25	仙台市民会館	207名	28名
	音楽会	11/5	日立システムズホール仙台	439名	19名
文芸関係事業	文学散歩	9/29-9/30	福島県会津方面	-	参加者32名
	「宮城県文芸年鑑」発行	10/15	-	-	800部発行
	文芸祭	10/17	東京エレクトロンホール宮城	133名	文芸公募：一般454点・ジュニア196点
茶会	茶会	10/11・18・25	輪王寺	3,829名	-
巡回展事業	絵画・書道展栗原展	10/27～11/1	栗原文化会館	332名	86点（絵画：49点・書道：37点）
コンクール事業	第36回ピアノコンクール	予選2/14	日立システムズホール仙台	408名	119名（初級A：13名・B：18名、中級A：31名、B25名、上級A：19名、B：13名）
		本選3/25	日立システムズホール仙台	318名	56名（初級A：6名・B：9名、中級A：15名、B12名、上級A：8名、B：6名）

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

事業種別	事業名	期日	会場	入場者数	作品点数・出演者等
鑑賞機会提供事業	第52回宮城県芸術祭 絵画展受賞者作品展	1/19～1/24	東京エレクトロンホール宮城	688名	会員の部42点・公募の部16点 [共催：公益財団法人宮城県文化振興財団]
	宮城県芸術協会絵画部門 「選ばれし作品の軌跡」 －平成の芸術祭賞13年－	2/2～3/13	カメイ美術館	1,907名	21点 [共催：カメイ美術館]
	みやぎミュージックフェスタ2015inみさと	2/28	美里町文化会館	750名	当協会出演会員12名 共催：美里町・美里町教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団、NPO法人美里町文化振興事業団
伝統文化体験事業	第19回杜の都大茶会	6/13・14	勾当台公園	9,339名	-
人材育成事業	県民との美術交流・ギャラリートーク	10/11	せんだいメディアテーク5F・6F	78名	講師：高橋 誠氏
	書道部による県内小中学校への 講師派遣事業				
後援事業	「河北美術展」・「河北書道展」・「河北工芸展」など、本協会に本年度申請された84件の作品展や演奏会に対し、後援名義の使用許可及び賞交付による賞状や賞品等の提供に応じた。				

(3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

事業種別	事業名	期日	会場	入場者数	作品点数・出演者等
東北・北海道芸術文化 団体協議会交流事業	東北・北海道交流写真展	6/12～6/17	山形県芸術美術館	400名	出品作品86点（内本協会：10点）
仙台・大邱国際 芸術交流事業	（日・韓国際交流） 仙台・大邱交流絵画・写真展	10/12～10/15	大邱文化芸術会館	10,190名	大邱訪問団12名 本協会出品作品 絵画：26・ 写真：21

(4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

事業種別	事業名	期日	会場	入場者数	備考
会員研修	講演会	5/30	仙台市福祉プラザ	109名	「芸術家が驚いた芸術の底力」 講師：水戸 一志氏（文芸部会員）
	絵画部スケッチ研修会	5/16・17	福島県南会津町	33名	前沢・水引集落
	書道部研修会	9/27	エルパーク仙台	80名	「白萩と伊達政宗」 講師：東海林恒英氏・佐藤憲一氏 池田徳雲氏（書道部会員）
	第42回研修旅行	11/16～11/21	タイ・ミャンマー	10名	タイ：チェンマイ、チェンライ、パンコク
発行	機関紙「はなやま」発行	年間4回発行：204号（4/30）・205号（7/31）・206号（11/16）・207号（1/29）			各2,550部発行

平成27年度正味財産増減計算書 [決算]

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	2,500	2,500	0	0	2,500
受取入会金	0	0	0	880,000	880,000	0	880,000	1,760,000
受取会費	0	0	0	10,905,000	10,905,000	0	10,655,000	21,560,000
事業収益	5,464,880	56,000	1,110,000	0	6,630,880	2,686,000	0	9,316,880
受取補助金等	200,000	0	300,000	0	500,000	0	0	500,000
受取負担金	12,899,400	0	0	0	12,899,400	0	0	12,899,400
受取寄附金	110,000	0	0	0	110,000	0	0	110,000
雑収益	142,500	0	0	10,499	152,999	0	0	152,999
経常収益計	18,816,780	56,000	1,410,000	11,797,999	32,080,779	2,686,000	11,535,000	46,301,779
(2) 経常費用								
事業費	27,134,049	2,268,119	3,656,928	180,000	33,239,096	6,132,468	0	39,371,564
管理費	0	0	0	0	0	0	9,172,618	9,172,618
経常費用計	27,134,049	2,268,119	3,656,928	180,000	33,239,096	6,132,468	9,172,618	48,544,182
当期経常増減額	△8,317,269	△2,212,119	△2,246,928	11,617,999	△1,158,317	△3,446,468	2,362,382	△2,242,403
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	8,500,730	2,212,119	2,246,928	△14,033,463	△1,073,686	3,436,068	△2,362,382	0
当期一般正味財産増減額	183,461	0	0	△2,415,464	△2,232,003	△10,400	0	△2,242,403
一般正味財産期首残高	331,894	0	0	45,871,742	46,203,636	10,400	0	46,214,036
一般正味財産期末残高	515,355	0	0	43,456,278	43,971,633	0	0	43,971,633
II 指定正味財産増減の部								
寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0
一般指定財産への振替額	30,000	0	0	0	30,000	0	0	30,000
当期指定正味財産増減額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
指定正味財産期首残高	220,000	0	0	0	220,000	0	0	220,000
指定正味財産期末残高	190,000	0	0	0	190,000	0	0	190,000
III 正味財産期末残高	705,355	0	0	0	44,161,633	0	0	44,161,633

a : 公益目的事業経常費用計	b : 当年度年間全体経常費用	公益目的事業比率 (a / b)
33,239,096	48,544,182	68%



会場に設けられた茶席でもてなす席主

**第5回全国やきものフェア
茶席コーナーでもてなす
茶道部の5流派**

河北新報社など主催の「第5回全国やきものフェア in みやぎ」が7月14日～18日に夢メッセみやぎで開催された。

今回は「あなたのお気に入りを探しに」をテーマに、全国から参加した120の窯元・作家が作品を展示・販売した。

抹茶碗など茶器・茶道具の展示も多いことから、会場には茶席コーナーが設けられ、当協会茶道部加盟の5流派が茶道の普及啓発のためこれに協力。表千家、宗徧流、裏千家、玉川遠州流、遠州流茶道が日替わりで呈茶し、やきものを目あてに来場したファンをもてなした。

事務局日誌

会務報告

- 4・18 監事会
- 平成27年度事業報告及び会計監査
- 4・27 理事会
- 平成27年度事業報告及び収支決算の承認について
- 役員候補者の推薦について
- 平成28年度定時総会の開催について
- 印章管理規程の改正について
- 名誉会員について
- 新入会員の承認について
- 大邱との交流事業について
- 6・4 平成28年度定時総会
- 平成27年度事業報告及び収支決算の承認について
- 役員の選任について
- 6・4 理事会
- 理事長及び執行理事の選定について
- 新入会員(正会員)の承認について
- 賛助会員の推薦について
- 参事の推薦について
- 6・8 第53回宮城県芸術祭委員会
- 第53回宮城県芸術祭について
- 7・8 第1回部長会議
- 第53回宮城県芸術祭について
- 各部署の点検について

後援

- ☆第52回宮城水彩展「栗原展」7月8日～17日 栗原文化会館
- ☆第62回全国公募画展南書道展 7月15日～20日 せんだいメディアテーク
- ☆チルコロ・マンドリン・ステイコ・フロローラ第30回ソロとマンドリンの集い 7月16日 仙台市戦災復興記念館
- ☆第27回宮城示現会美里展 7月17日～24日 美里町近代文学館
- ☆第35回板橋健独唱会「声による表現の可能性を求めて」7月22日 仙台市戦災復興記念館
- ☆みやぎ県立こども病院「石を用いた美術ワークショップ」7月25日～28日 宮城県立こども病院
- ☆第44回宮城野書道展 7月29日～8月2日 せんだいメディアテーク
- ☆第4回リアン協会絵画展 7月29日～8月3日 せんだいメディアテーク
- ☆第39回仙台の四季を描く絵画展 7月29日～8月3日 せんだいメディアテーク
- ☆玄穹社展併催第8回玄穹社学生展 8月5日～8日 せんだいメディアテーク
- ☆第63回河北書道展 8月11日～16日 藤崎本館7階催事場他
- ☆宮城野書人会選抜展併催学生書道展 8月12日～17日 せんだいメディアテーク
- ☆第44回宮城二紀展 8月19日～24日 せんだいメディアテーク
- ☆第40回宮城新協美術展 8月24日～29日 東京エレクトロンホール宮城
- ☆第30回日洋展仙台会場・2016日洋会東北支部展 8月26日～31日 せんだいメディアテーク
- ☆2016仙台オペラ協会第41回公演「ヘンゼルとグレーテル」9月3日～4日 東京エレクトロンホール宮城
- ☆トリオコンサート 9月18日 仙台市立音楽ホール
- ☆翠桂社中展 9月27日～10月1日 東北電力グリーンプラザ
- ☆第36回「日本の調べ」演奏会 10月15日 東日本大震災被災者支援事業
- ☆イズミティイ21 10月25日～29日 東北電力グリーンプラザ
- ☆歌いつがれゆく日本の歌 10月28日 日立システムズホール仙台
- ☆第25回河北工芸展 10月28日～11月3日 FCJギャラリーMini Mori
- ☆レパートリー研究会5 11月2日 イズミティイ21
- ☆第40回一般社団法人二科会写真部東北地区公募展 11月17日～20日 八戸市美術館
- ☆混声合唱団クール・リュミエール第50回定期演奏会 11月19日 東北大学百周年記念会館川内萩ホール
- ☆第24回宮城シニア美術展 12月1日～4日 宮城県美術館

会員の入賞・入選など

◇第71回春の院展

書道部	桶川大州殿 平成27年12月11日
文芸部(短歌)	栗原正寿殿 12月18日
文芸部(洋画)	野村健司殿 平成28年4月29日
工芸部(陶芸)	針生乾馬殿 5月7日
絵画部(洋画)	新澤玉雄殿 5月27日
文芸部(散文・小説)	宇津志勇三殿 6月7日
文芸部(短歌)	桂重俊殿 6月16日
書道部	佐藤静香殿 7月1日

謹 弔

受贈書

歌文集 木かげの揺れて(原田夏子)、篆刻・書 高野芳月作品集(高野芳月)、洋舞公演四十五年のあゆみ(宮城県洋舞団体連合会)、河北TBCカルチャーセンター「短歌」実作と鑑賞」講座作品集「夕星」(齊藤梢)

けやきの譜

どんよりした梅雨空の下で、ペンを執っている。震災地の熊本など九州地方では大雨が続いている一方、関東の利根川水系などは水不足が心配されるなど、天の配剤は相変わらずいびつな面もある。東北などは暑い夏が予想されているので、熱中症には十分にご注意を▼参院選が終わり、都知事選の投票も間近。8月の声を聞けばすぐにリオ五輪、引き続きパラリンピックが開幕する。五輪の日本代表は、前回ロンドン大会の2倍に当たる金メダル14個を目標にしているが、果たしてどうか▼衝撃的な事件も絶えない。パリの同時テロ、米・フロリダのクラブ襲撃テロ、バン格拉ダシユの飲食店人質テロと続き、バングラでは日本人7人が犠牲になった。テロの防止は世界共通の課題だ▼こうした内外の情勢を縫って、韓国・大邱の訪日団が7月20日来仙。せんだいメディアテークで絵画・写真展を開き、昨春秋に大邱を訪れた当協会の会員と交流を深めた。一行は同23日に帰国したが、友好の芽は今後も育てていきたいものだ。(恂)